

読書ボランティア紹介

サークルおはなしおかあさん

子ども読書推進のために

サークルおはなしおかあさん(伊達市)

令和2年2月1日(土)訪問

登録人数

4名 (令和2年2月現在)

創設年月

平成12年

活動場所

伊達市霊山地区保育所・幼稚園・認定こども園・小学校等、老人会(大人対象)
読み聞かせ、大型絵本、紙芝居、歌、エプロンシアター等



活動内容

「サークルおはなしおかあさん」は、主に霊山地区の幼稚園・保育園や小学校、児童館でのお話会等で活動しています。霊山地区には、今から20年ほど前まで、小学校区や自治会単位ごとにボランティアの方などが運営している「親子読書会」がありました。その活動に携わっていた阿久津さん(代表者)の「活動の幅を広げ、たくさん子どもたちにお話の楽しさを届けたい」という想いに賛同した仲間が集い、平成12年に結成されました。近年は、充実した活動内容が口コミなどで広がり、伊達市内や福島市内の保育園等でも活動を行っています。

「絵・料理・洋裁が得意」、「理科や社会の内容に詳しい」、「歌や踊り・太鼓・昔話が得意」など、メンバー4人の得意分野や、「これがやりたい」という想いを生かしながら内容を構成し、子どもたちの心をワクワクさせるお話を作り上げています。「サークルおはなしおかあさん」は、霊山地区の子どもたちにとって、なくてはならない存在です。



活動の実際

訪問日は、霊山児童館で「サークルおはなしおかあさん」が毎月行っているお話会が行われていました。年間7回のお話会は、毎回テーマが設定されています。今回のテーマは「ことば」です。

大型の人形(おばあちゃんとかんたろう)の、方言を交えた楽しいお話や歌の世界に、子どもたちはすぐに引き込まれていきました。「雪」と「春よ来い」を同時に歌うとピッタリと合うことの驚き。絵本の中に隠れている文字を探したり、グループで協力しながら体で人文字を作ったりする活動の楽しさ。そして、みんなが一つになって大型カルタに熱中した後で、しっとりとした朗読の世界を味わう。あっという間の1時間30分。子どもたちが思わず身を乗り出し、笑顔になる瞬間がたくさん見られました。最近では、お子さんといっしょにお話会にやってくるお父さんも増えているそうです。

子どもたちを温かく包み込む雰囲気の中で、お話好きな子どもたちが育っているお話会でした。



●プログラム内容●

「ほん☆よむかい」～「ひゅるる～ん かんたろうのおはなしかい」～

1 人形劇と歌(おばあちゃんとかんたろう)

♪「大寒小寒」「雪」「春よ来い」

2 絵本「なんでももじもじ」

3 絵本「あいうえおつきさま」

→ 大型かるたで遊ぼう!

4 絵本「ひともしえほん」

→ みんなで「ひともし」を作ってみよう!

5 絵本「ふしぎなナイフ」

6 朗読劇「手ぶくろを買いに」

